

TS騎士 ふたなり化 搾精



行方不明者続出の
原因調査を命じられ
部下を率い西の山へ
赴いた聖騎士隊長
フォルテイス。



「近頃、西の山へ行方不明者が続出している。原因調査を命じられた。部下を率い西の山へ赴いた。聖騎士隊長フォルテイス。」

しかしそこは
淫魔どもの巣
となっていた。



彼女らの目的は
捕食と繁殖だと言う。
力無き者は糧に、
資質ある者は
精を注いで同族へと
作り変える。

部下を殺され自身も
女へと変えられた
フォルテイスは
淫魔どもから凌辱の
限りを尽くされる。



快楽と屈辱に
虐げられながらも、
彼の敬虔なる心
は決して折れる
ことはなかった。

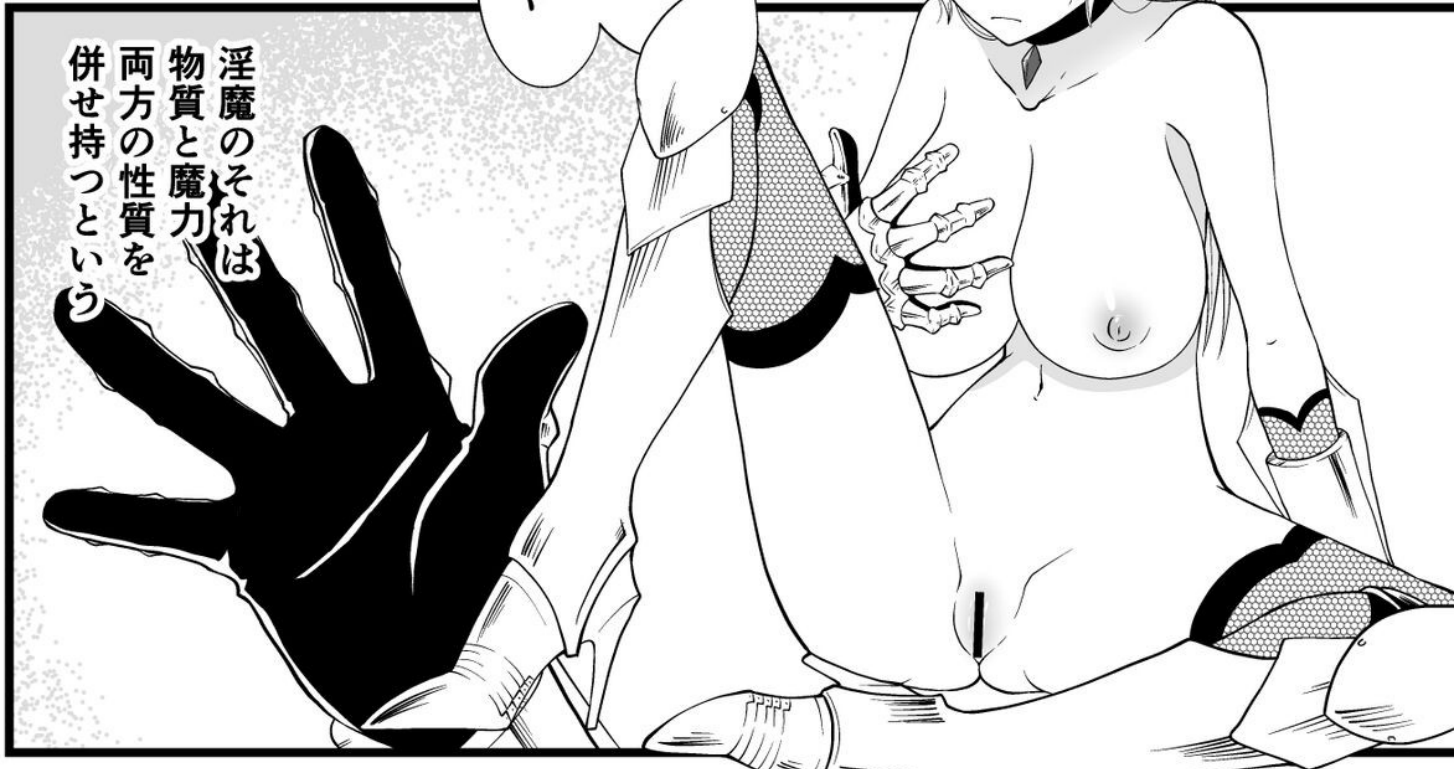




体液が
消えている

…いや

淫魔のそれは
物質と魔力
両方の性質を
併せ持つという



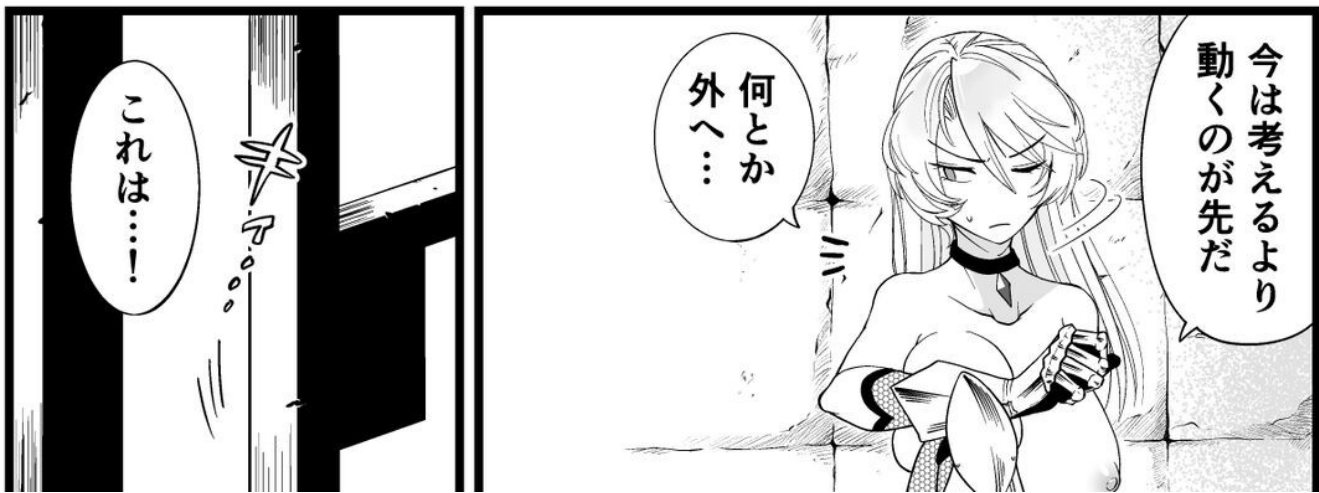
綺麗になった
のではなく…
むしろ汚れが
より深くまで

早く清めねば
奴らの
言う通り…



今は考えるより
動くのが先だ

何とか
外へ…

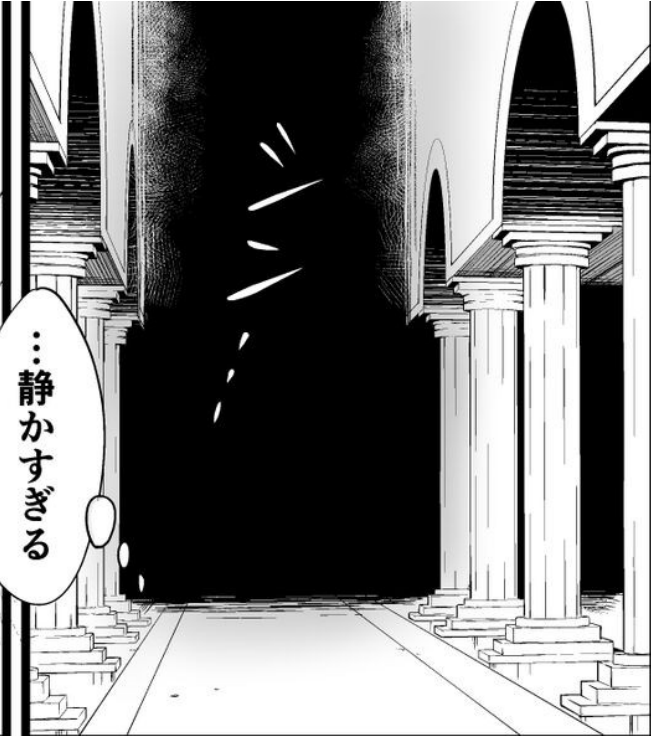


これは…!



明らかに霞だ

…静かすぎる



ガイ

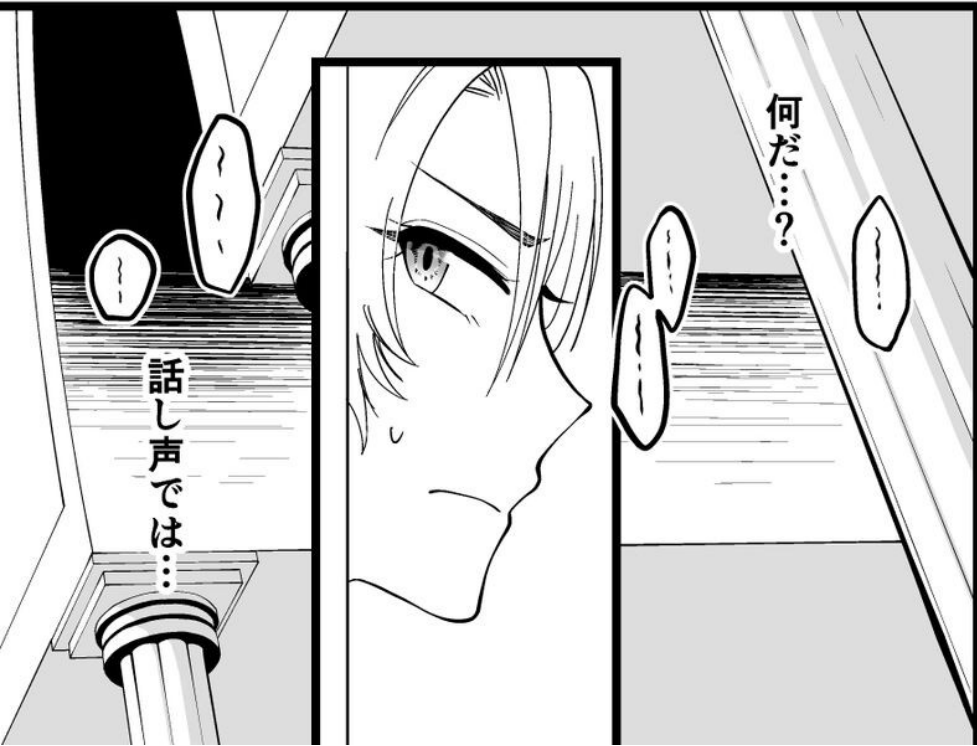


あの集落の
正体がこれか

迂闊だった
全て私の責任だ

とにかく剣を
手に入れねば

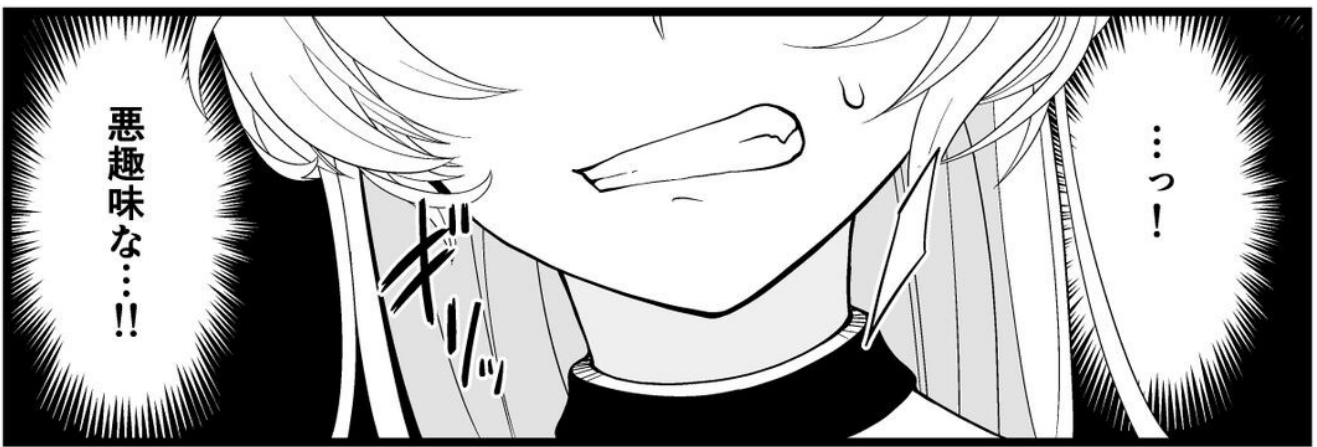
部下たちの死に報い
元の身体に戻るにも
丸腰では話にならん



何だ…？

話し声では…







ほっ

ずっと祈って
いるのに

我が声を
聞きたまえ

んっ…

この哀れな
しもべの前に
奇跡を顕し…

一向に御加護が
下される気配がない

十口…♡

クワッ



くそっ
思い出すな

奴らめ
これが狙いか
どこまでも
愚弄する…



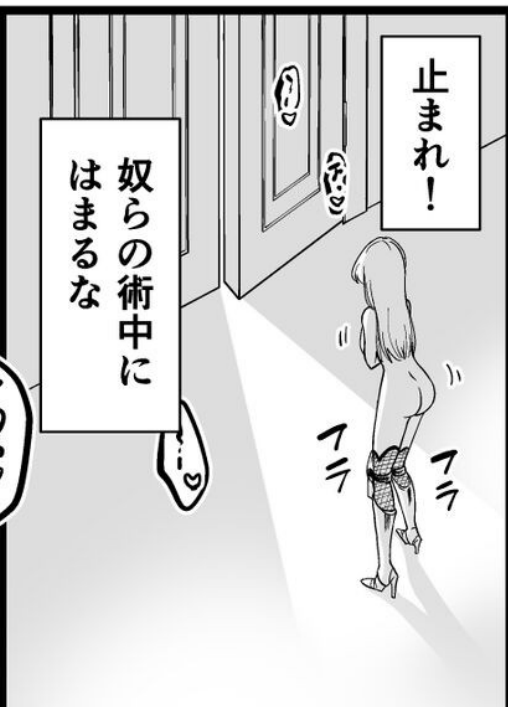
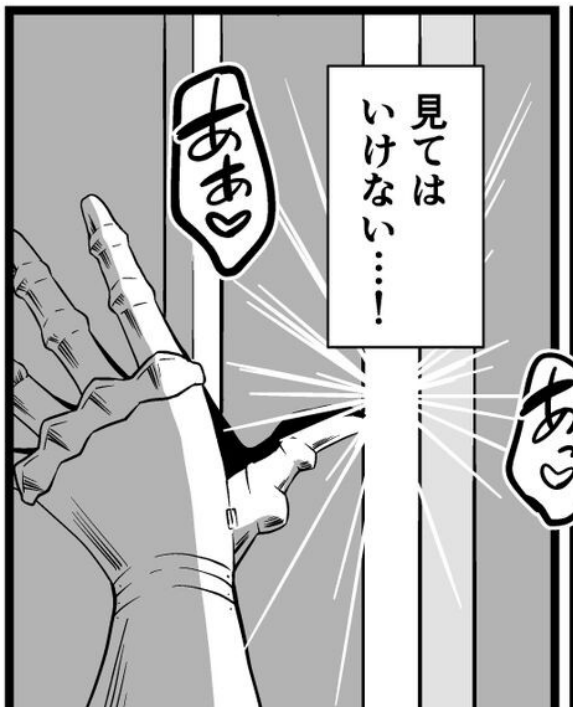
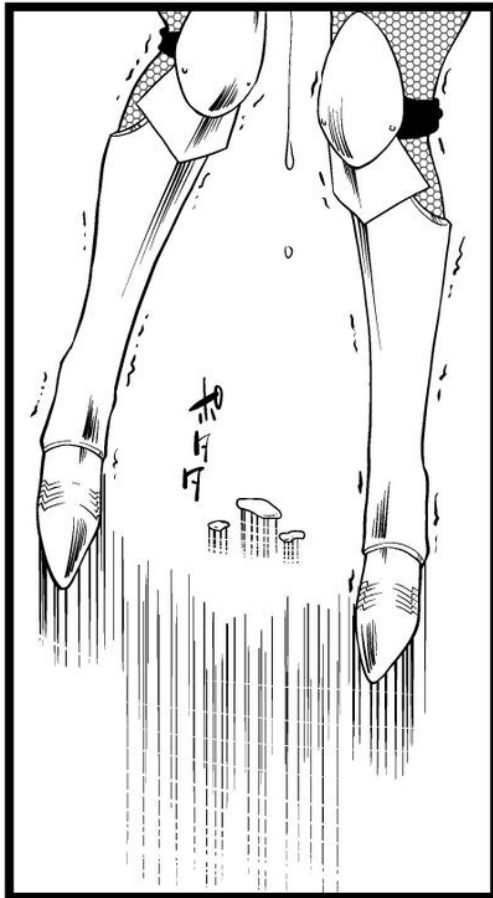
だが所詮は
肉の苛みだ

我が信仰は
いかなる試練をも
耐え凌ぐ

だが…



神よ…
おかしい





あゝ

ギシッ
ギシッ
ギシッ
はぁ
ギョッ



あゝ

ギシッ
あゝ

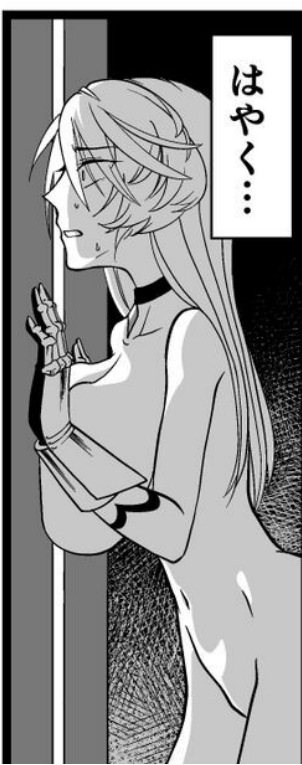
早くこの場を
離れなければ



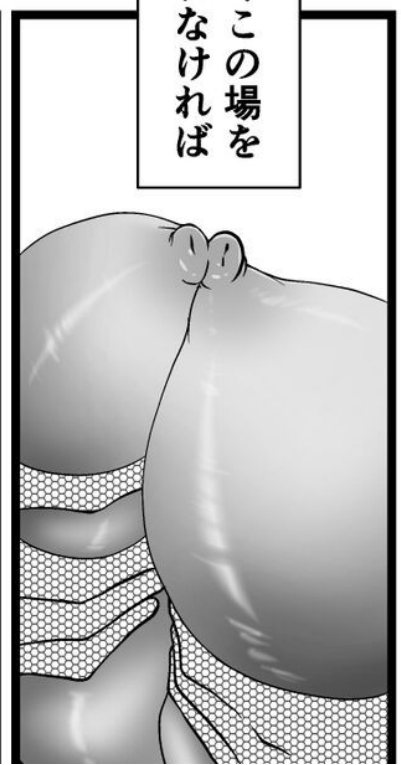
身体が疼く…



ああ…



はやく…



飢えている

私の身体が…



これは…!?

ズルニ♡

セキ

セキ

セキ

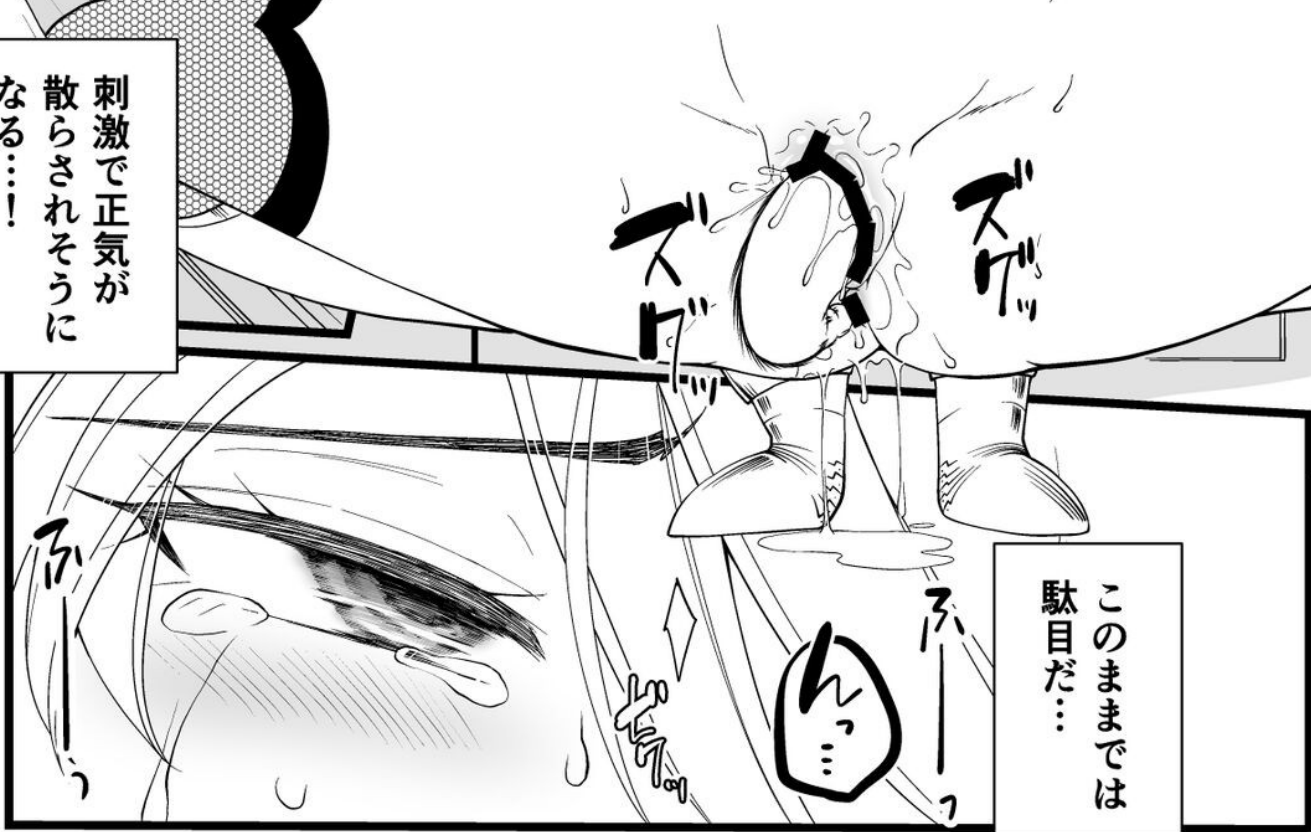
セキ

!!



両側から
交互につ...

刺激で正気が
散らされそうに
なる...!



このままでは
駄目だ...



とにかく
淫気から
離れなければ...



く…
なにを…

何をした…!!

騎士様がお休みの間
魔道具を膣内に
忍ばせておいたのです

使用者の性感に
合わせて形や
動きを変えて
くれますの

きつと気に入って
くださる
と思つて♡

ふ

ぎげるっ

な

あ

あああああ♡

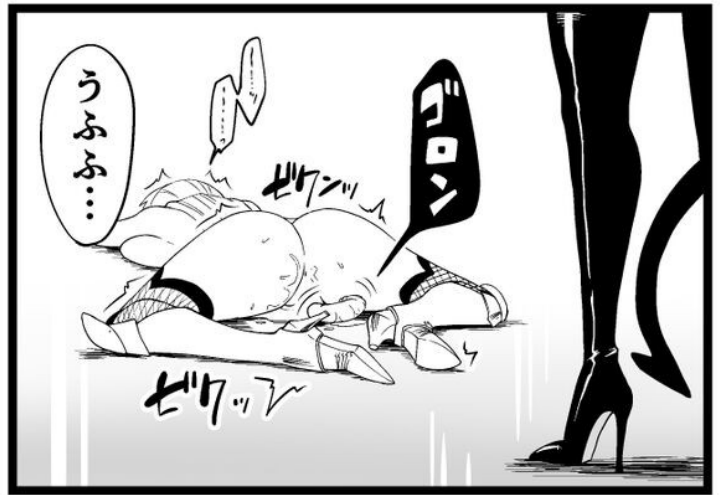
オオオ♡

じゅっぽ
じゅっぽ

せげ

せげ
せげ
せげ

じゅっぽ
じゅっぽ
オオオ♡
オオオ♡





ああ：漸く
騎士様に快楽を
差し上げられます

お独りで飢えを
忍ばれる姿を
見ているだけで
私も心苦しかった
ですわ





ああ…
来る…

来る…っ



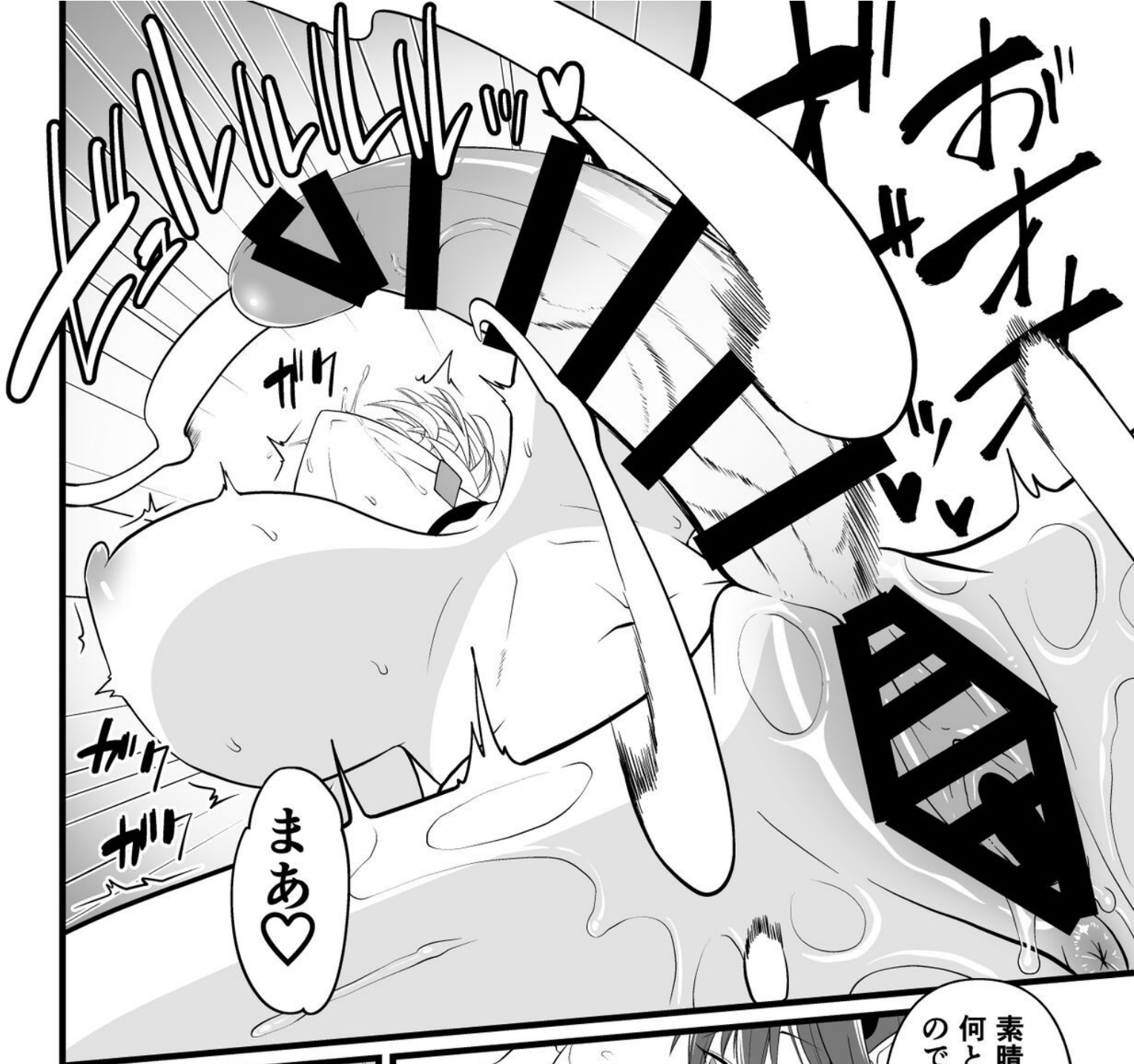
ああっ

ルリの潮は『効く』
でしよう？

ア…！

あはあ♡

騎士様あ♡



まあ♡

素晴らしいですわ♡
何と美しい
のでしょう♡

あ…

な…

それ…
ご覧ください
騎士様♡

それ…



綺麗な緋色♡

貴方様のお身体は
着実に我々に
近付いて
おりますわ♡

あわ



うふふ…
『繁殖』の成功まで
あと一歩

絶頂の度に
貴方様の瞳は
赤く染まり
やがて戻らなく
なりますの

そうすれば
騎士様は
めでたく我々の
ものですわ♡

ゴウゴウ
ゼツ



こんな…
こんな姿では
二度と神の御前に
出られない…

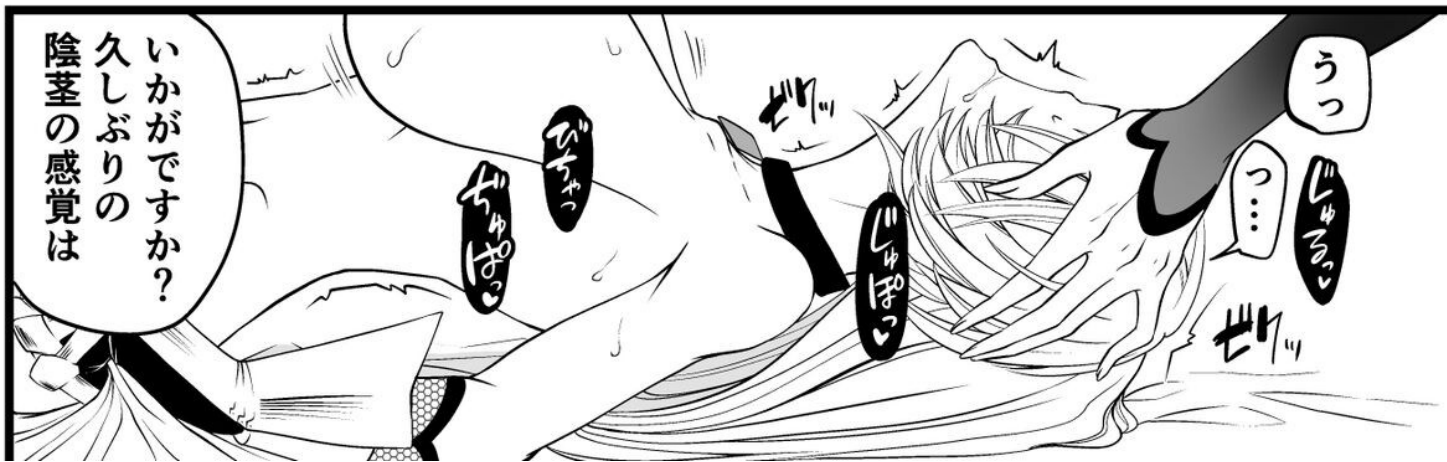
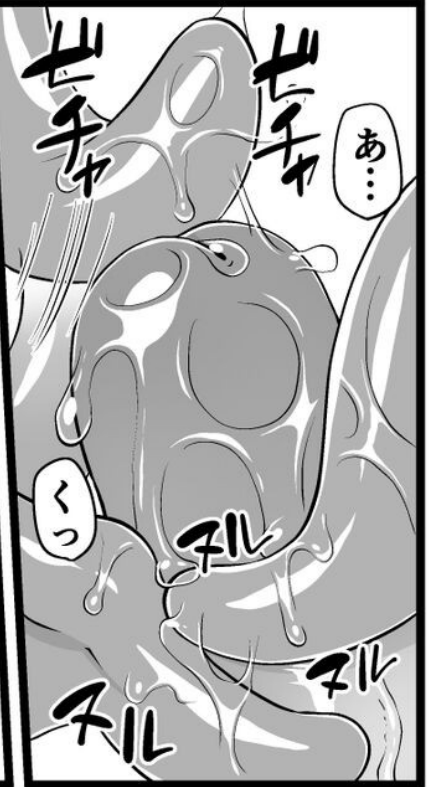
今すぐにも
剣で喉元を貫いて
しまいたい！



そう思って
いるのに…

ゼツ

ゴウゴウ



まあ♡膣を刺激された
途端に反応が
良くなりました♡

騎士様…そのような
お顔をなさらないで
ください

あれほど取り返し
たがっておられた
『もの』では
ございませんか

違う…こんな…
穢らわしい
身体…ッ

ええ♡
神のもの
などとはとても
言えませんわね

ですから我々と共に
いらっしゃれば
よろしいのですよ♡

黙れッ

私はっ…

わたし…

あ…あああ

にゅん

にゅん

にゅん♡



この…
瑞々しい味♡

やはり女体を
知ってはいるものの
経験は浅いようですわ

ぬちゅっ

くちゅっ…

くちゅっ

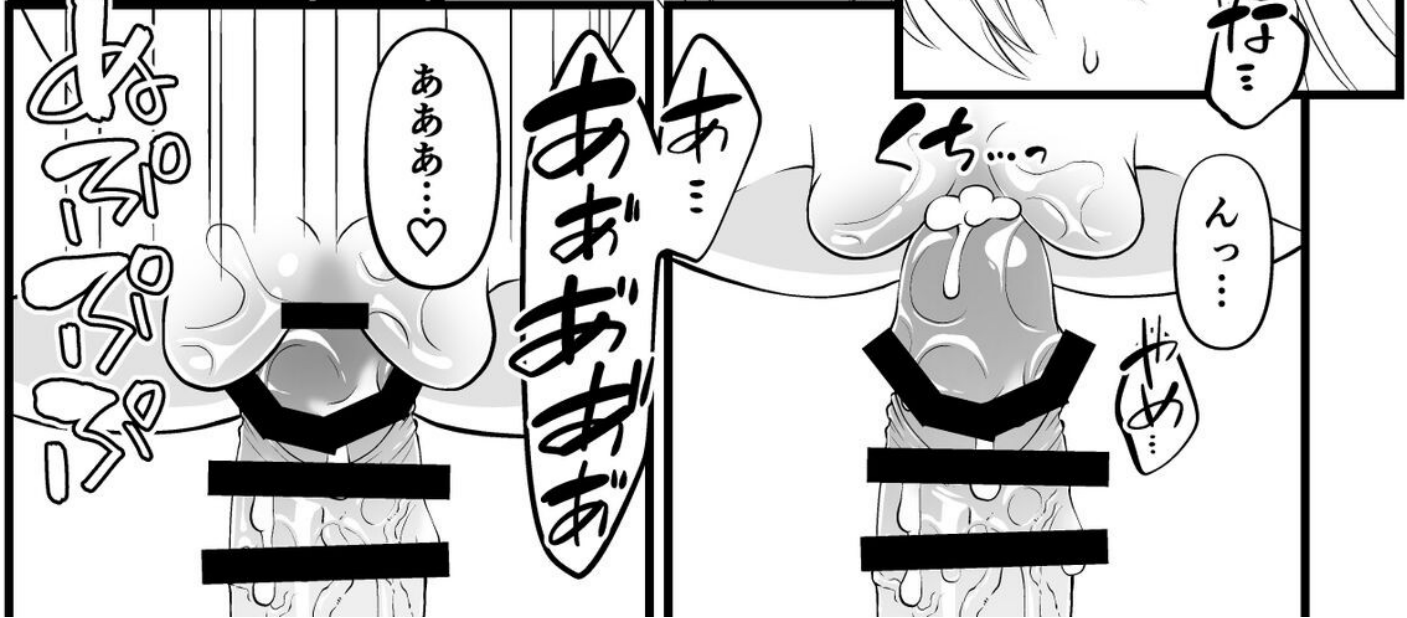
私たちのために
こんなに
たくさん…

ありがとうございます
♡ごちそうします♡



さあ騎士様

お待ちかね
ですわ...♡



あああ...♡

んっ...

おっおっおっ

おっ...

おっおっおっ



いかがですか？
私の中の心地は

お気に召したら
嬉しいのです
けれど…♡



騎士様が欲して
おられるのは
どちらかしら♡

んふ…
物足りなさげ
ですわね

なんて…
分かって
おりますわ

もちろんこちら
ですわよね…っ♡

ああん♡
やはり悦いですわあ♡

私、貴方様の喉が
やみつきになって
しまいましたの♡

喉奥の切なげな
締め付けが
たまりませんわあ♡

んっ♡



うふふ♡騎士様も
嬉しいのですね♡
陰茎がビクビクと…♡

あら♡本当に
強欲なお方♡

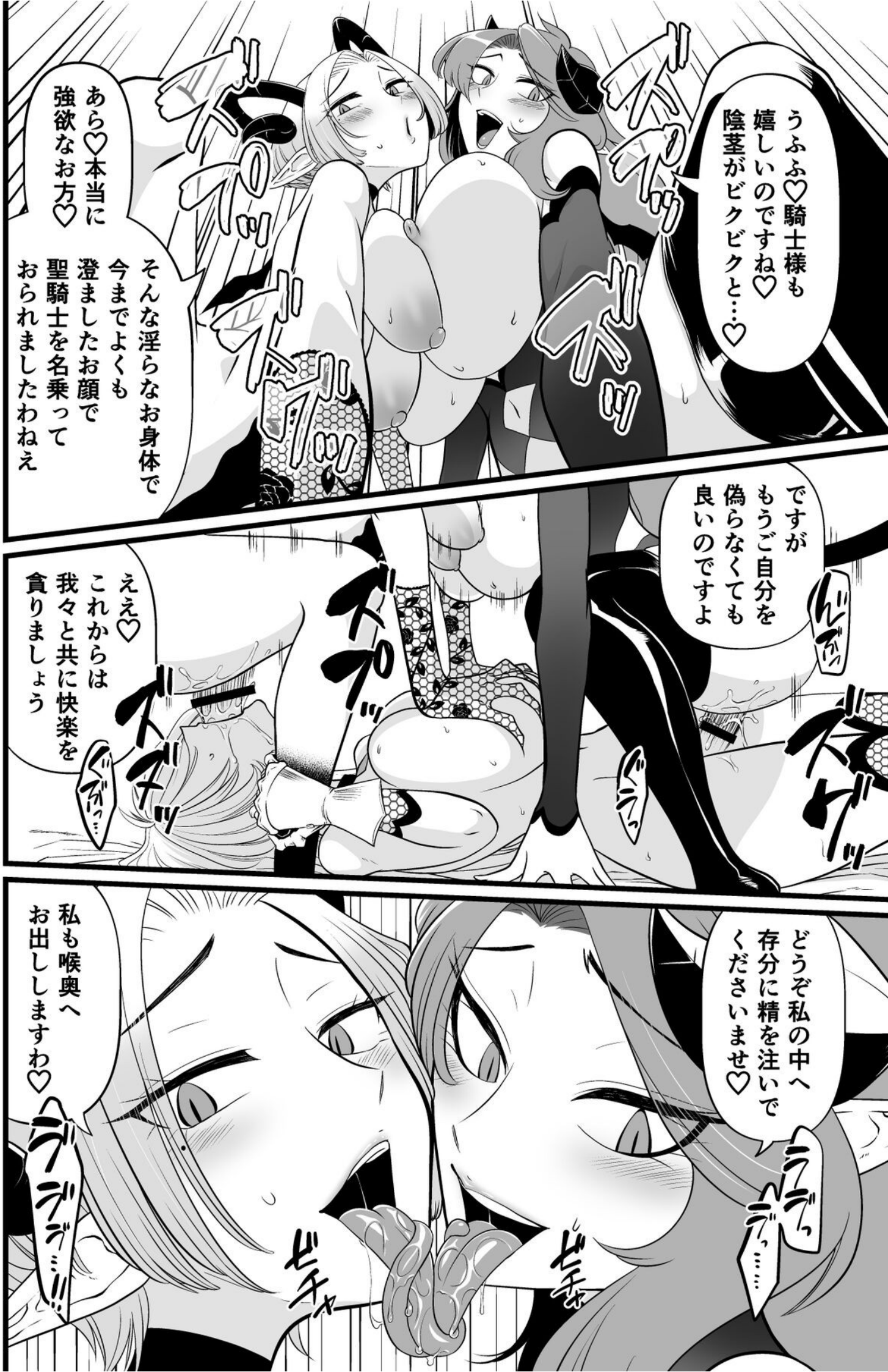
そんな淫らなお身体で
今までよくも
澄ましたお顔で
聖騎士を名乗って
おられましたわねえ

ですが
もうご自分を
偽らなくても
良いのですよ

ええ♡
これからは
我々と共に快楽を
貪りましょう

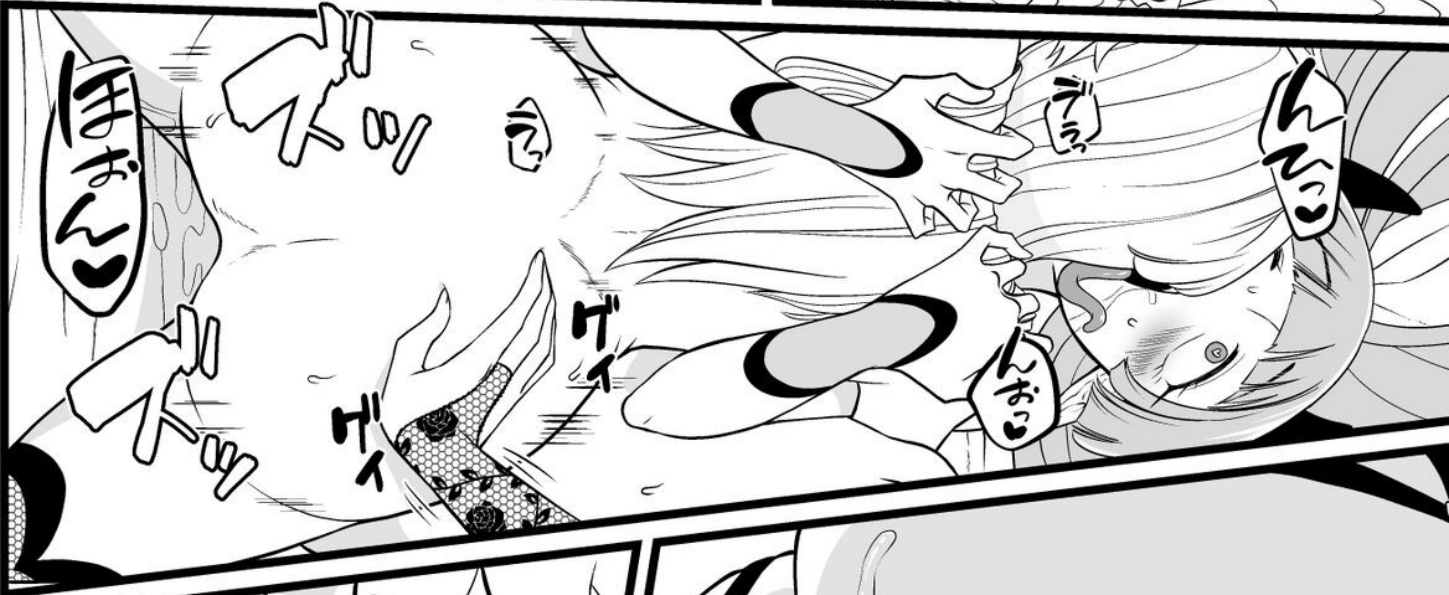
どうぞ私の中へ
存分に精を注いで
くださいませ♡

私も喉奥へ
お出ししますわ♡





そのお顔...
またすぐに
催してしま
いそうですわ...♡
もっと虐めて
さしあげたい
けれど
後が待って
おりますから...







ああ♡
騎士様♡

あん♡♡

あ♡♡

キニッ

キニッ



あ♡♡

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ



もう少しの
辛抱ですわ

あゝ



疲労が
限界のよう
ですわね

私が支えて
さしあげ
ますから

あゝ

あゝ



わたし…

私は何を
して……？



ただ終わることを
望んでいる



分からない…



欲しい…!!



これでは
終われない…



だが…
足りない



貴方様の望みは
分かって
おりますわ♡

切ない思いは
させません

こちらもも悦びくなって
くださいませ♡

ご心配なく♡
射精もちゃあんと
できますのよ♡

へま…♡

ツ

あゝ

あゝ

ツ



ご自身でも充分
実感しております
でしょう？

雄と雌…どちらの
快楽も飽くことなく
浅ましく貪る身体

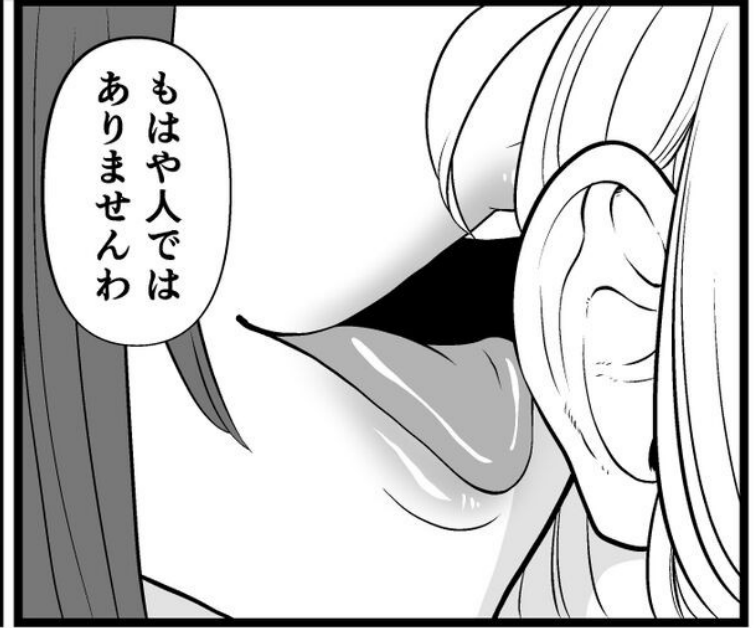


腰が動き
始めましたわ♡

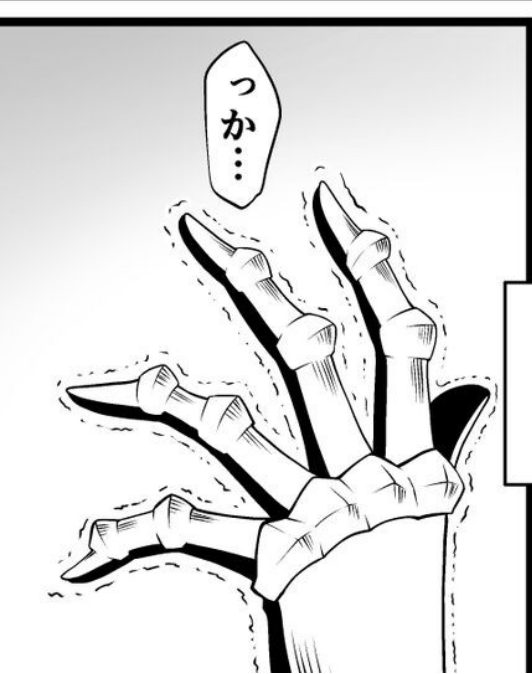
あっ…♡



我々と同じ
存在ですよ



もはや人では
ありませんわ



つか…



貴方様は
淫魔なのです♡

違う…

違う…!!

ふッ

…みよ

神よ…

うっ

我が声

っを

あ…っ
聞きたまえ…

はあっ…この、

あ、ち、小、さ、き

あ、あ、っ、し、も、べ、の、っ

祈りっ

を…



あら騎士様
腰を振りながら
祈りを捧げて
おられますの？

半ば無意識
なのでしよう

健気なほど
敬虔なお方

本当に
愛おしい…

ス……

あ…

ズググ

ん？

ズググ

ズググ

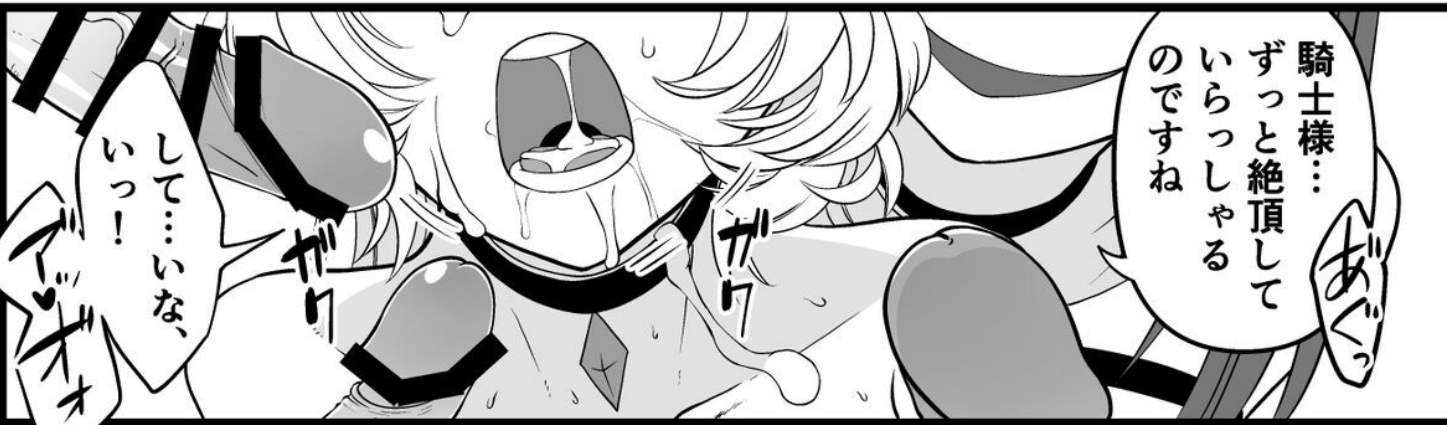




雄々しいお声♡

きっとそのように
凛々しく隊を鼓舞し
率いてこられた
のでしよう

今となっては
快楽に悦ぶ
『淫魔』の鳴き声
ですけれど…
ふふ♡



騎士様…
ずっと絶頂して
いらっしやる
のですね

して…いな、
いっ！



虚勢を張っても
無駄ですわ♡

先程から瞳が
赤いまま
ですもの♡

ハニシ…♡



これも試練と
おっしゃるのですか

神よ



この地獄の果てで
貴方は本当に
待ってられる
のですか



何故

何故...!

おにゃああ



まあ騎士様
罪深いお方♡



神の名を
口にしながら
絶頂なさるなんて

しかも不満を
おっしゃって
おりましたわ



私は…
何という
ことを……



淫魔による
冒流行為としては
素晴らしいもの
ですわね

騎士様は
新たな身体を
手に入れて
まだ間もない身

これ以上行為を
続けるのは
お身体に
障りますわ

この愚かな…

を…

お許し…

一旦ごゆっくり
お休みなさいませ

ああ…
そうか

ようやく
眠れるのか

続



ずっと祈って
いるのに

我が声を
聞きたまえ

んっ…

この哀れな
しもべの前に
奇跡を顕し…

一向に御加護が
下される気配がない



くそっ
思い出すな

奴らめ
これが狙いか
どこまでも
愚弄する…



だが所詮は
肉の苛みだ

我が信仰は
いかなる試練をも
耐え凌ぐ

だが…



神よ…

おかしい



両側から
交互につ…

刺激で正気が
散らされそうに
なる…!!

このままでは
駄目だ…



とにかく
淫気から
離れなければ…



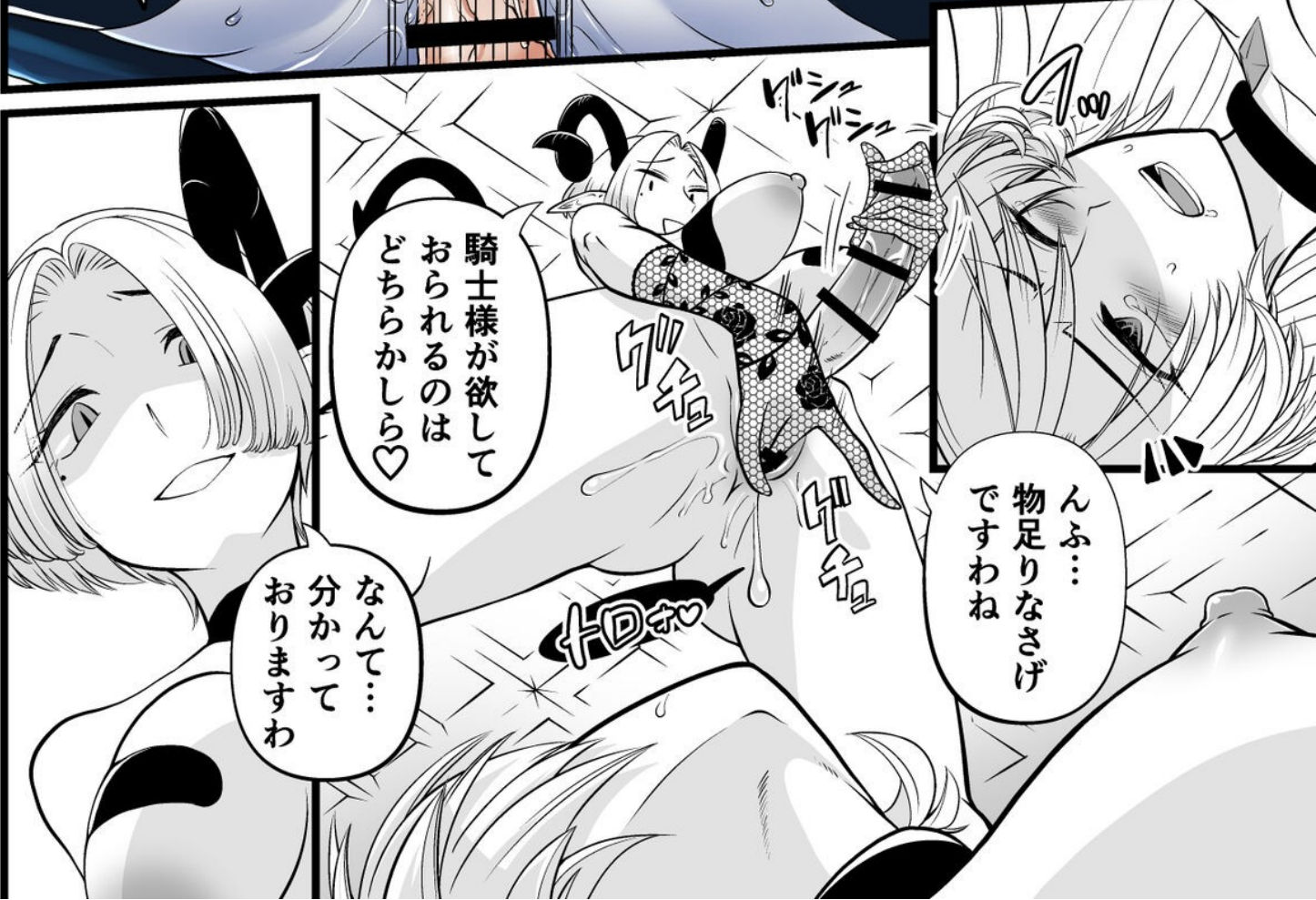
いかがですか？
私の中の心地は

お気に召したら
嬉しいのです
けれど…♡

んふ…
物足りなさげ
ですわね

騎士様が欲して
おられるのは
どちらかしら♡

なんて…
分かって
おりますわ





...みよ
神よ...

我が声

っを

あ...っ
聞きたまえ...

はあ...この、

あ、ち、小さ、き

あ、あ、っ、しもべのっ

祈りっ

を...

あら騎士様
腰を振りながら
祈りを捧げて
おられますの？

半ば無意識
なのでしょう

健気なほど
敬虔なお方

本当に
愛おしい...

ス.....

ズグッ

ズグッ

ズグッ

ズグッ

騎士様は
新たな身体を
手に入れて
まだ間もない身

これ以上行為を
続けるのは
お身体に
障りますわ

この愚かな…

を…

は

は

ゼッ
ゼッ

ゼッ
ゼッ

ホッ
ホッ

ホッ
ホッ

ゼッ
ゼッ

お許し…

一旦ごゆっくり
お休みなさいませ

ああ…
そうか

ようやく
眠れるのか

続

